

## 授業改善重点実施校の指定について

平成27年4月22日

高校教育課

## 1 目的

各高校で授業改善を進める一方で、地域や学校独自の課題に対応する「授業改善重点実施校」を指定し、指導方法の改善や教員の指導力向上を重点的に支援

## 2 期間

原則として3年間

## 3 内容

- (1) 授業名人や指導主事などを重点的に派遣
- (2) 県外の先進校などに教員を派遣
- (3) 基礎学力を向上する独自科目を設定するなど、教育課程の弾力的編成や、ICT機器など教育環境の改善を支援

## 4 指定校

- (1) 平成25年～平成27年の指定校の取組

- 敦賀高校 ・若手教員の指導力育成による授業改善
- ・大学進学等をより一層向上させるための個別添削指導
- 足羽高校 ・45分7限授業導入と学校独自科目を週2時間増設
- ・異なる教科の教員が指導法について学びあう授業改善を推進

- (2) 平成27年～平成29年の指定校（案）

- 勝山高校 ・英語教育・環境教育を基軸とした中高連携プログラム
- 丹生高校 ・4年間の連携型中高一貫教育プログラム

## 敦賀高校

- ・若手、中堅教員の指導力育成による授業改善
- ・大学進学等をより一層向上させるための個別添削指導

### 1 若手、中堅教員の育成

- ・校長が教育学、生徒理解やコーチングの手法などを直接、若手、中堅教員に指導
- ・30人の若手、中堅教員を5人ずつのグループに分け、生徒情報の共有化などの課題改善策を教科会や学年会等に提案

改善策① 生徒の志望・模擬試験等の結果を校内ネットワークで共有

〔担任による進路指導方針のもと、部活動顧問や学年会の教員が情報を共有し、生徒への声かけや学習方法についての面談を通して、学習意欲を喚起〕

改善策② 誤答分析による生徒のつまづき解決策

〔物理 計算問題の誤答を踏まえ、各単元の学習に必要な数学の公式や計算等を記入した指導計画表を作成〕

### 2 大学進学指導を一斉から個別へと転換

- ・全教員による3年生の個別添削指導を徹底
- ・英数を中心に1人の教員が3名の生徒を指導
- ・難関大学志望者には理科、国語も指導
- ・センター試験後は、全教科で個別添削指導を徹底

### 3 特色ある制度等の活用

- ・ふるさと教員の授業をもとに、1年普通科でエネルギー問題、敦賀の歴史等の課題研究を開始
- ・商業科で敦賀を再発見する観光科目を設定し、つるが観光ツアーのガイドを努め、敦賀の魅力を発信

### 4 平成27年度の取組

- ・生徒の知的好奇心を高めるため、「敦高塾」を開催
- ・外部講師を含めた高度な実験・実習および大学入試問題にチャレンジ

# 敦賀高校



個別添削指導



若手・中堅教員グループ研究会



校長による講義



国語のグループ学習



数学のグループ学習

## 足羽高校

- ・ 4 5分7限授業導入と学校独自科目を週2時間増設
- ・ 異なる教科の教員が指導法について学びあう授業改善を推進

### 1 科目の増設

#### (1) 1年生対象科目「足羽ベーシック」(H26:火1限、金7限)

- ・ 国、数、英の3教科で中学と高校の学習の橋渡しとなる重要事項を学習  
(各教科5つの分野を5回シリーズ 計75回実施)
- ・ 合格ラインに到達するまで教科担当や担任が放課後に指導

#### (2) 3年生対象科目「ドリカムタイム」(H26:火7限、木7限)

- ・ 進路志望に応じてクラスを解いた進路学習を実施  
進学志望者は、推薦入試に対応できる小論文演習等を実施  
就職志望者は、就職試験の問題演習、模擬面接等を実施

### 2 テーマ別研究グループが授業改善を推進

#### (1) 研究テーマ

- ①言語活動の活用 ②興味関心を喚起する工夫 ③基礎力定着
- ④発問、導入、教材資料提示法の工夫 ⑤ICT機器の活用

#### (2) 各グループにおいて授業研究会を実施

- ・ すべての生徒の学習活動を分担して観察
- ・ 発問の仕方やグループ学習などの指導法の改善策を協議

#### (3) 研究実践による成果

- ・ 語彙力を強化するため、既習単語を繰り返し発音させるフラッシュカードの活用を促進
- ・ すべての教科の学力につながる読解力を高めるため音読の積極的導入
- ・ ICT機器による資料提示や教員自作のワークシートの積極的活用

### 3 平成27年度の実践

- ・ 学習意欲の高い3年生を対象に国、数、英、理の4教科で放課後に少人数でのスーパーゼミ(仮称)を新規に実施
- ・ グループ活動やディスカッションの積極的導入により言語活用力を養成

# 足羽高校

時間割

	月	火	水	木	金
1	ベニツク 英語総合	数学	ベニツク	英会話	
2	英会話	体育	情報	数学	理科総合
3	体育	○英語	○英語	○英語	数学
4	○英語	数学	理科総合	芸術	体育
5	数学	理科総合	北三単地	国際総合	国際総合
6	化学基礎	芸術	国際総合	理科総合	東洋基礎
7	総合	情報	LH	保健	

1年時間割 (H27)



足羽ベニツク授業



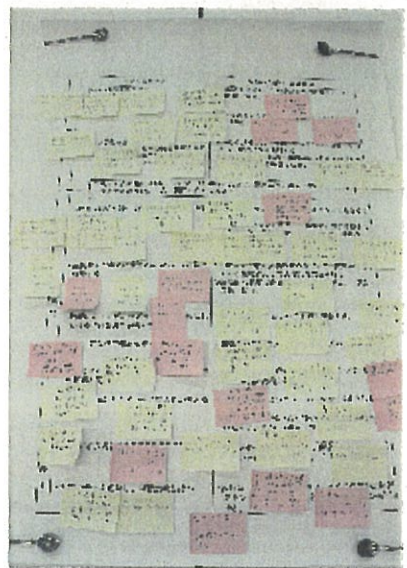
教科を解いたグループ研究会 1



教科を解いたグループ研究会 2



生徒の見取り



グループ研究会後の見取りの成果

## 授業改善重点実施校の新規指定（案）について

### 1 期 間

平成27年度～平成29年度（3年間）

### 2 指定校（案）

#### （1）勝山高校

＜テーマ＞

「英語教育・環境教育を基軸とした中高連携プログラム」

＜具体的内容＞

○勝山市や小中学校との連携強化

- ・「英語教育強化地域拠点事業」による小3から高3までの英語コミュニケーション能力強化プログラムの策定
- ・ユネスコスクールに加盟している小中学校と連携し、環境教育を継続・発展

○進学強化策

- ・1年次から3段階の習熟度別クラスを編成し、学力を向上
- ・2年次から文理混合クラスとし、少人数による進路志望別指導を強化
- ・第一志望を諦めさせない個別指導を実施

#### （2）丹生高校

＜テーマ＞

「4年間の連携型中高一貫教育プログラム」

＜具体的内容＞

○連携クラスでの取組

- ・連携中学校の拡大による連携クラス生徒数の増加
- ・連携クラスで、越前町の歴史・文化等の課題研究を実施し、発信
- ・理数グランプリやビブリオバトル等の各コンテストに積極的に出場

○進学強化策

- ・1年普通クラスで国数英各1時間の習熟度別授業を実施
- ・28年度から学力向上のための学校設定科目を設定
- ・全教員が授業改善について個人テーマを設定し、研究・実践